



美術館、博物館、動物園、音楽ホールなど、数多くの文化施設が集まる「上野の山」。

今秋も文化・芸術の魅力あふれる様々なイベントを開催します。



講演会 シリーズ

例年、幅広い分野の講師陣を迎え、上野の山の多彩な魅力を知る機会として好評の講演会シリーズ。今年も上野の歴史や秋の展覧会に関する講演、普段は一般公開していない学術施設での講演など、全16講演を開催します。

■申込先・申込方法は講演会により異なります。ご注意ください。

※講演内容については「お問合せ」に記載の施設に直接お問い合わせください。

※事前申込制の講演は、応募者多数の場合、抽選となります。(一部除く)

※申込方法の詳細は、裏面の「イベント申込方法」をご覧ください。

会場 日時 (開演時間) 受講料 定員 申込締切等

No. 1 企画展「東京都美術館開館100周年記念 この場所の風景―上野・大牟田・ブエノスアイレス」トーク・シリーズ 名もなき誰かの足跡をたどる

カルチュラル・ワーカー 清水 チナツ
AHA! 世話人 松本 篤

在野の民話探訪者・小野和子氏の書籍編集やメキシコ民衆版画のリサーチ等に取り組んできた清水チナツ氏と、本展(第三部)に《百日草の庭》リサーチ・プロジェクトで参加したAHA!の松本篤氏に、自身の活動がまなざしてきたものについてお話いただきます。

東京都美術館 講堂	9月5日(土)14:00
無料(要展覧会当日チケット)	200名 事前申込制 8月6日(木)12:00～申込開始
お問合せ	https://www.tobikan.jp/viewsofthisplace/ 東京都美術館 03-3823-6921(代表)

No. 2 「中村不折コレクションの魅力」

書道博物館主任研究員 中村 信宏

企画展「書道博物館開館90周年記念 中村不折と書道博物館 ―不折のおたから大公開!―」の関連イベントとして、ギャラリートークを開催します。不折がその半生40年あまりにわたり収集した書道博物館の名品を一挙公開し、博物館の歴史もあわせて紹介いたします。

書道博物館	9月6日(日)／10月18日(日) ①11:00 ②14:00
要入館料	各回20名 当日先着順
お問合せ	https://www.taitogeibun.net/shodou/ 書道博物館 03-3872-2645

No. 3 中国絵画鑑賞入門 ― 東博コレクションを例に

東京国立博物館主任研究員(中国絵画) 植松 瑞希

中国絵画は、日本の歴史や文化と深く関わってきました。東京国立博物館での展示を入りに、その魅力と楽しみ方をわかりやすく紹介します。

東京国立博物館 平成館大講堂	9月12日(土)13:30
要入館料	380名 事前申込制 7月17日(金)～8月11日(火・祝)
お問合せ	https://www.tnm.jp/ 東京国立博物館 社会連携チーム(旧教育講座室) 03-3822-1111(代表)

No. 4 令和8年度産業技術史講座 「舞台照明器具技術の系統化調査」

国立科学博物館 前産業技術史資料情報センター主任調査員 浅川 久志

「舞台照明器具」は、単に明るくする機能だけでなく、演者や舞台空間の立体感、時間や季節の状況変化を表現する役割も担います。本講座では、多様な配光特性をもつ器具としての日本での成立と発展について、用途別にそして光学系の観点からも解説します。

国立科学博物館 日本館2階講堂	9月12日(土)14:00
要入館料	100名 事前申込制
お問合せ	https://www.kahaku.go.jp/event/index.php 国立科学博物館 学習課 学習支援担当 03-5814-9888

No. 5 特別展「東京都美術館開館100周年記念 大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」 記念講演会 大英博物館の浮世絵コレクション 8人のスター絵師を中心に

国際浮世絵学会副理事長・元千葉市美術館副館長 田辺 昌子

「大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」の開催を記念して、本展の学術協力者である田辺昌子氏にご講演いただきます。歌麿、写楽、北斎、広重をはじめとする八大浮世絵師を中心に、絵師それぞれの魅力を紐解きながら浮世絵の歴史をご紹介します。

東京都美術館 講堂	9月19日(土)14:00
無料	未定 事前申込制
お問合せ	https://www.tobikan.jp/exhibition/2026_britishmuseum.html 050-5541-8600(ハローダイヤル)

No. 6 開館50周年記念特別講座 横山大観旧宅探訪 ― 非公開エリアと秘話でたどる大観の芸術 ―

横山大観記念館館長 横山 浩一

横山大観記念館開館50周年を記念し、大観のひ孫である横山浩一館長による特別講座を開催します。通常は公開していないエリアの見学に加え、横山家に伝わる秘話や作品にまつわるエピソードを交えながら、横山大観の芸術と人となりをご紹介します。

横山大観記念館	9月19日(土)16:00
要入館料	20名 事前申込制 8月14日(金)12:00～9月3日(木)
お問合せ	https://taikan.tokyo/ 横山大観記念館 03-3821-1017

No. 7 企画展「東京都美術館開館100周年記念 この場所の風景―上野・大牟田・ブエノスアイレス」トーク・シリーズ 戦中・戦後の女性の美術家たちを追いかける

近代日本美術史・ジェンダー史研究者 吉良 智子
国立国際美術館 主任研究員 正路 佐知子

本展(第一部)出品の女流美術家奉公隊《大東亜戦皇國婦女皆働之図》、戦後福岡の前衛美術家・田部光子(1933-2024)に関する調査・研究に、それぞれ継続的に取り組んできた吉良智子氏と正路佐知子氏に、戦中・戦後期の女性の美術家たちを追う中で見えてきたことについてお話いただきます。

東京都美術館 講堂	9月26日(土)14:00
無料(要展覧会当日チケット)	200名 事前申込制 8月6日(木)12:00～申込開始
お問合せ	https://www.tobikan.jp/viewsofthisplace/ 東京都美術館 03-3823-6921(代表)

No. 8 令和8年度産業技術史講座 「自動車用無段変速機技術の系統化調査」

国立科学博物館 前産業技術史資料情報センター主任調査員 安保 佳寿

動力を継ぎ目なく伝える「無段変速機(CVT)」は、クルマの低燃費化や走りの性能向上に貢献しました。さらに電子変速制御の実現により、スポーツシフト等、クルマを運転する楽しさを広げました。本講座では現在までの開発変遷について解説します。

国立科学博物館 日本館2階講堂	10月3日(土)14:00
要入館料	100名 事前申込制
お問合せ	https://www.kahaku.go.jp/event/index.php 国立科学博物館 学習課 学習支援担当 03-5814-9888

No. 9 世界遺産登録10周年記念講座 「ル・コルビュジェ設計 国立西洋美術館」

NPO法人 世界遺産アカデミー 事務局 村上 千明

2016年に世界遺産に登録された「国立西洋美術館」。その建築の魅力を知り、ル・コルビュジェが日本の近代建築に与えた影響を探ることで、「国立西洋美術館」の価値の再認識を目指します。

オンライン開催	10月3日(土)10:00
無料	事前申込制
お問合せ	https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/sekaisan/10kinen/10thkoza.html 台東区役所 都市交流課 03-5246-1193

No. 10 大徳寺の歴史と美術

- ①東京国立博物館主任研究員(日本絵画) 高橋 真作
- ②東京国立博物館主任研究員(東洋工芸) 三笠 景子

絵画と工芸の担当者が特別展「大徳寺」の見どころをじっくりとご案内します。とくに観音猿鶴図と青磁花入を中心に、最新の研究成果を紹介いたします。

東京国立博物館 平成館大講堂	10月17日(土)13:30
要入館料	380名 事前申込制 8月21日(金)～9月13日(日)
お問合せ	https://www.tnm.jp/ 東京国立博物館 社会連携チーム(旧教育講座室) 03-3822-1111(代表)

No. 11 ①徳川体制における「表向」と「内証」 ②膀胱の動きと膀胱がん

東京大学名誉教授 渡辺 浩／(公財)日本対がん協会会長 垣添 忠生

①徳川日本の統治組織は、「武威」を誇る武士たちの軍隊(であるはず)でした。しかし、「泰平」の持続の中で、組織全体が、一面で、「表向」と「内証」とを使い分ける奇妙な演技集団と化し、空洞化していきました。②膀胱は老廃物としての尿を貯め、排出する袋状の臓器です。1日に1500ミリリットルほどの尿を5～6回で排泄するのが普通です。一番重篤な病気は膀胱がんです。乳頭状の表在性がんと結節状の浸潤性がんがどうして発生するのかをお話したいと思います。

日本学士院 総会議場	10月24日(土)14:00
無料	会場150名／オンライン500名 事前申込制(先着順)8月下旬受付開始予定
お問合せ	https://www.japan-acad.go.jp/ 〒110-0007 台東区上野公園7-32 日本学士院 公開講演会係 03-3822-2101

No. 12 防災講演会「津波のおはなし」

常葉大学名誉教授 池田 浩敬
気象庁地震火山部地震津波監視課地震津波防災推進室 増田 颯貴
国立科学博物館理学部理化学グループ 室谷 智子

毎年11月5日は「津波防災の日」、「世界津波の日」です。本講演会では、「津波防災の日」が制定された由来や、津波による災害、防災のための情報、津波フラッグなどについてご紹介します。

国立科学博物館 日本館2階講堂	11月1日(日)14:00
要入館料	100名 当日先着順
お問合せ	https://www.kahaku.go.jp/event/index.php 国立科学博物館 学習課 学習支援担当 03-5814-9888

No. 13 第60回オープンレクチャー みること、つたえること

11月3日
東京文化財研究所 特任研究員 小林 公治／奈良国立博物館 上席研究員 鳥越 俊行
11月4日
東京文化財研究所 上席研究員 塩谷 純／皇居三の丸尚蔵館 主任研究員 田中 純一郎

文化財の研究は対象をみることから始まります。そして研究成果を誰かにつたえるということは、文化財を後世につたえるということでもあります。この講座ではみること、つたえることに日々向き合う研究者より一日目は日本の輸出漆器と文化財の科学調査について、二日目は日本の近代美術について講演いたします。

東京文化財研究所 セミナー室	11月3日(火・祝)・4日(水)13:30
無料	120名 事前申込制(詳細はWebサイトをご覧ください)
お問合せ	https://www.tobunken.go.jp/ 東京文化財研究所 文化財情報資料部 kjenkyukai_tobunken@nich.go.jp 03-3823-2241

No. 14 巨大日本画「不死鳥」で屋久島を描く

日本芸術院会員 西田 俊英

日本画家西田俊英は、およそ5年の歳月をかけ近世以降、森林資源の活用と保全の葛藤にさらされている屋久島にて現場での取材をもとに、人間と自然との共生、生命の循環をテーマとした巨大日本画「不死鳥」の制作に励んでいる。色鮮やかな不死鳥が導く人間と自然の終りない物語は、完成すれば縦2.05メートル、横100メートルという前人未踏の日本画になる予定。屋久島での取材風景や制作の過程などスライドを織り込みつつ、自然の素晴らしさを皆様と考えたいと思います。

日本芸術院会館	11月7日(土)14:00
無料	100名 事前申込制(詳細は決まり次第、Webサイト等でお知らせします)
お問合せ	https://www.geijutuin.go.jp/ 日本芸術院 03-3821-7191

No. 15 カモシカっておもしろい!

恩賜上野動物園職員 他

国の特別天然記念物であるニホンカモシカ。登山中に、こちらをじっと見てたたずむ姿に出会ったことがある方もいらっしゃるでしょう。野生ではどのような暮らしをしているのでしょうか。また、動物園ではどんな姿が見られるでしょうか。ニホンカモシカという興味深い動物についてお話します。

恩賜上野動物園 管理事務所3階会議室	11月23日(月・祝)
無料	80名 事前申込制(詳細はWebサイトをご覧ください)
お問合せ	https://www.tokyo-zoo.net/zoo/ueno/ 恩賜上野動物園 教育普及係 03-3828-5171(代表)

No. 16 世界遺産登録10周年記念講演会

神奈川大学教授 松隈 洋

国立西洋美術館 世界遺産担当室長 福田 京

俳優 菊川 怜

文化庁 文化遺産国際協力室 主任文化財調査官 西 和彦

国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジェの建築作品」世界遺産登録10周年を記念し、豪華登壇者による講演会を開催します。詳細は、台東区公式ホームページをご確認ください。

台東区生涯学習センター ミレニアムホール	11月29日(日)
無料	300名 事前申込制
お問合せ	https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/sekaisan/10kinen/commemorativelecture.html 台東区役所 都市交流課 03-5246-1193

